

# 前衛党建設(ブント再建)へ

## 寄稿:鈴木迪夫氏・船橋 治氏

『赤光 復刻版 全3巻別冊1』(不二出版)に寄せて／揃定価・本体53000円

### 尊敬すべき同志 鈴木迪夫

「佐藤瀧上太郎を便装したブント」(一九一九年六月一日)於神田学士会館―抜粋―

この頃には佐藤瀧上太郎が、東京で『赤光』を編集していた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』は、一九一九年六月一日、神田学士会館で、佐藤瀧上太郎の指揮の下、出版された。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』の編集は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』の発行は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

### 『赤光』第1号(創刊号)の謎

創刊号を探求し、社学同ML派機関紙を再現する過程で、暗黙知の再現の難しさを思い知らされた

#### 船橋 治

『赤光』の創刊号は、一九一九年六月一日、神田学士会館で、佐藤瀧上太郎の指揮の下、出版された。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』の発行は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』の編集は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

『赤光』の発行は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。



▲ML派研究会(於神田山荘, 2002年11月30日)

### 不二出版 既刊のご案内

※最新版総合目録がまもなく出来予定です。ご希望の方は弊社までお申し付けください。

#### 新刊 学生評論・季刊大学・大学 全10巻・別冊1

戦後による環境と不安のなか、大学の自由を求め苦しんだ学生たちの初期動向を伝える。戦後学生運動の決定版『学生評論』(1946-1950)、さらに総合学術文化雑誌『季刊大学』(1947-48)を、ついに復刊! 戦前から戦中と違つた学生運動の精神を受け継ぎ、再刊された『学生評論』には、自治を求めた学生たちの闘争、卒業後の就職情報、生活、恋愛など多彩な内容を伝える貴重な情報が満載。別冊1は、石高、丸山男ら第一線の知識人を執筆陣に集めた『季刊大学』(1947-48)と併せて、GHQ占領下の日本国憲法発布、二・一ゼネスト、サンフランシスコ講和条約と目まぐるしく変化する時代の精神文化が浮き彫りに。

別冊1『戦後学生運動と学生運動』(別冊1) 総訂次・発行 (262頁/分冊別) 本体価格2,500円+税  
A5 / B5判・上製・総4,032頁 送料 西三山 〇 2020年2月-11月 (全3回配本)

#### 戦後 学生運動

『赤光』の創刊号は、一九一九年六月一日、神田学士会館で、佐藤瀧上太郎の指揮の下、出版された。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

---

#### 学芸評論 全9巻・付録1・別冊1

占領から単独進軍、日本安保条約、そして朝鮮戦争、レッドパージの嵐のなかで、学生たちは各地で反戦平和運動、社会運動を展開した。このような時代背景において創刊された『学芸評論』(1952-54)は、全学連と密接に連携しながら、全国各地の学生がその編集に関わった。誌面には、学生運動、大学自由と学問の自由のテーマのほか、評論や小説、広く学生生活全般に関わる記事が掲載された。さらに東洋大学の男子学生に限りない多様な内容も取り上げられている。『学芸評論』の復刊誌として、1950年代の学生運動をリードした重要資料を、『わたつかに闘争 京大天宮事件の記録』など学芸評論誌刊行の行事とともに収録。

付録『わたつかに闘争 京大天宮事件の記録』、『わたつかに闘争』(一) 総訂次・発行 (262頁/分冊別) 本体価格2,000円+税  
A5判・上製・総4,230頁 送料 西三山 〇 2020年2月-11月 (全3回配本)

#### 戦後 学芸評論

『赤光』の発行は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

---

#### 珞大文学 全5巻・付録1・別冊1

1953年7月、東洋の強い政情のなか『珞大文学』は創刊された。誌面では多くの人がペンネームを使用していたのは、名義を隠すことが必要な時代であったからだ。同人にとって、『東洋雑誌下の東洋文学』に立ち向かうのが文学・芸術上の大きな困難であった。『珞大文学』は、この困難を乗り越え、東洋の学生運動の歴史を伝える重要な役割を果たした。『珞大文学』の復刊誌として、1950年代の学生運動をリードした重要資料を、『わたつかに闘争 京大天宮事件の記録』など学芸評論誌刊行の行事とともに収録。

別冊1『戦後学芸評論』(別冊1) 総訂次・発行 (64頁/分冊別) 本体価格1,000円+税  
A5判・上製・総2,556頁 送料 西三山 〇 2020年2月-11月 (全3回配本)

#### 戦後 珞大文学

『赤光』の発行は、佐藤瀧上太郎の指揮の下、行われた。この頃には、佐藤瀧上太郎が、『赤光』を編集していた。

### 不二出版 新刊のご案内

※ご希望の方にパンフレットをお送りいたします。

## 60~70年代学生闘争の「パトス」を伝える!!

# 赤光

戦後学生運動・学園闘争叢書1 [復刻版]

全3巻 別冊1

1960年~70年代の「激動の10年間」を闘った社学同ML派の機関紙を復刻。ML派は10派以上を数える新左翼グループのなかでも少数派であり、大衆動員においても常に遅れをとっていたが、他派にない独自の方針を取り、少なからず影響力を行使していた。1960年代運動史研究におけるさまざまな可能性を探るために、もはや幻といえる本紙の復刻は大きな一助となるだろう。ほぼ全号を復刻版として刊行する。

社会主義学生同政治機関紙・日本マルクス・レーニン主義青年同盟中央委員会機関紙  
レポルジョン社発行『赤光』第1号(1963年5月)~第7号(1970年12月)  
別冊1 別冊2 別冊3 別冊4 別冊5 別冊6 別冊7 別冊8 別冊9 別冊10  
別冊1 別冊2 別冊3 別冊4 別冊5 別冊6 別冊7 別冊8 別冊9 別冊10  
別冊1 別冊2 別冊3 別冊4 別冊5 別冊6 別冊7 別冊8 別冊9 別冊10

ISBN7-4350-9430-5